

平成29年

おおいた

夏の事故ゼロ運動

～おこさず あわず 事故ゼロ～

期間：平成29年7月15日(土)～7月24日(月)までの10日間

運動の基本

運動期間中の
取り組み

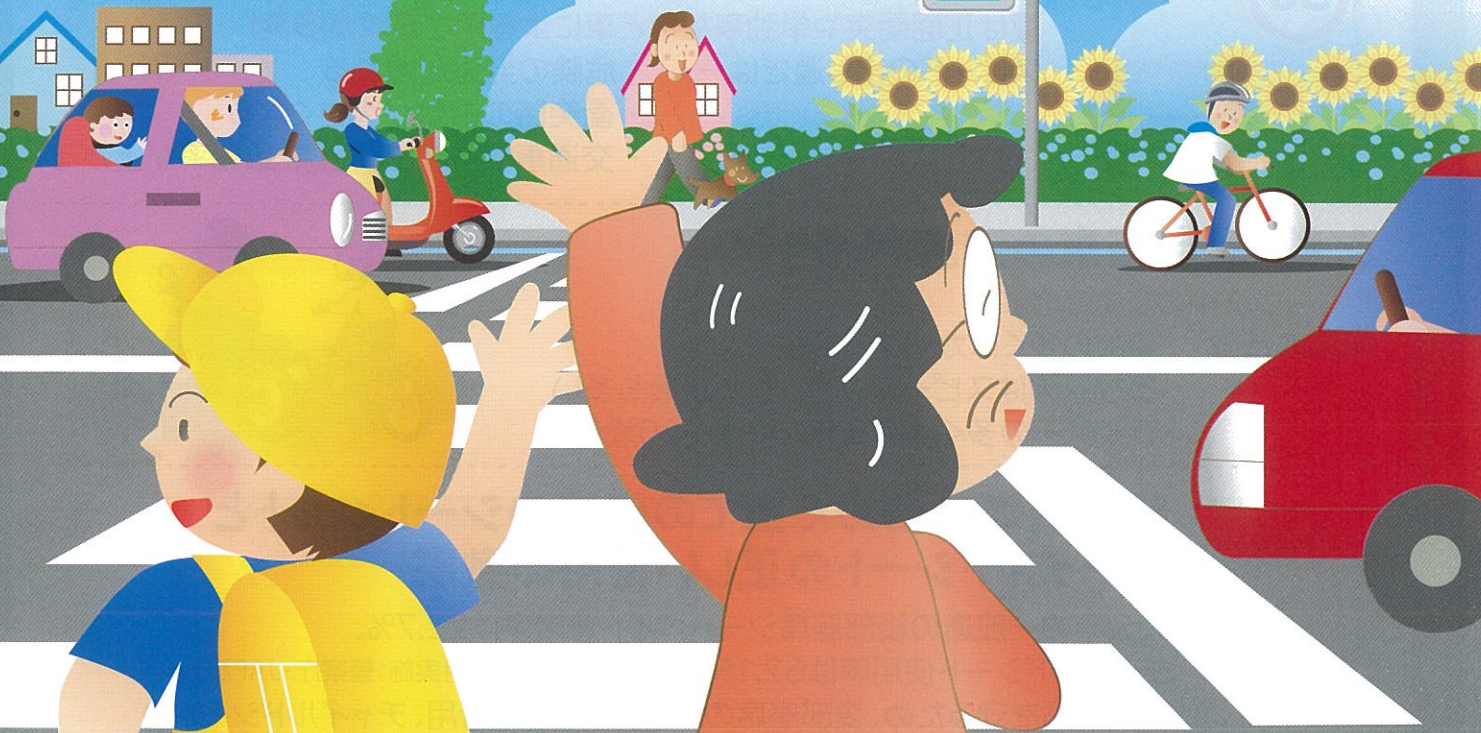
一斉街頭啓発
7月14日(金)
7月20日(木)

高齢者と子どもの 交通事故防止



運動の重点

- 追突事故の防止 ～3秒の車間距離～
- スピードダウンの徹底(速度抑制)
- 二輪車・自転車の安全利用
- 後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底



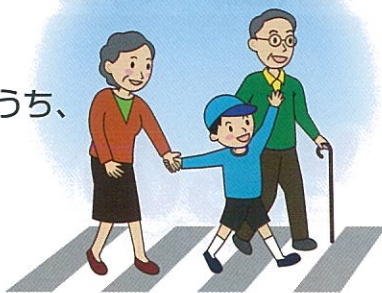
おおいた 夏の事故ゼロ運動

運動の基本

高齢者と子どもの交通事故防止

高齢者の交通事故が多発!

平成28年中の交通死亡事故のうち、
高齢者の死者数が
約7割、全国ワースト4位
高齢者の交通事故は、
道路横断中に多く発生



子どもたちは夏休みの時期

夏休みという解放感から
交通事故に遭うことが心配されます
子どもたちを交通事故から
守るために、「思いやり運転」を
しましょう

運動の重点

追突事故の防止 ～3秒の車間距離～

平成28年中の交通事故のうち約46%が追突事故です。
3秒の車間距離をとるには・・・
前車が通り過ぎた地点から「ゼロ1、ゼロ2、ゼロ3」と
数え終えた後に、自分の車がその地点を通過する



スピードダウンの徹底(速度抑制)

夏は正面衝突や単独事故など車による死亡事故が多発!

スピードの出し過ぎは・・・

- ・危険の発見が遅れる
- ・衝突時の衝撃が大きくなる
- ・交通事故を起こした際、致死率が上がる

二輪車・自転車の安全利用

ツーリング中の交通事故に注意!

事故の特徴

- ・事故の多くはカーブで発生
- ・事故原因はスピードの出し過ぎが最も多い
- ・ライダーの多くは中高年(30歳～60歳代)



後部座席を含めた全ての座席のシートベルトと チャイルドシートの正しい着用の徹底

大分県の一般道の後部座席シートベルト着用率は22.7%、
チャイルドシート使用率は62.1%(平成28年10月・11月実施:警察庁・JAF調査)
大切な命を守るため、後部座席のシートベルトの着用、チャイルドシートの
着用を徹底しましょう

